授業科目 看護の統合と実践Ⅲ	外部講師 専任教員	単位数 2	時間数 60	履修年次・前後 3年次/前期
講義のねらい	1 看護者としての専門性・倫理性・責任を自覚し、患者の安全を保障する意識を高める。 2 医療に潜む安全を阻害する因子を総合的に判断する力を養う。 3 安全を守る看護師の役割について理解する。 4 看護事故予防・対処の方法と安全管理について理解する。 5 医療看護場面での事故は日常的に発生する可能性がある。 6 看護技術の統合により、人間の生命と尊厳を守る看護師としての責任を果たすための基礎的能力を養う。			
授業形態	講義			担当及び時間
講義内容	1 事故防止の考え方を学ぶ 2 診療の補助の事故防止 3 療養上の世話の事故防止 4 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 5 医療安全とコミュニケーション 6 わが国の医療安全対策の流れと組織的な安全管理体制の実際 7 医療における安全管理 8 看護の法的責任 9 実際の看護場面での患者の安全を守り対処する知識と技術 10 看護師としての倫理感性 11 倫理・判断・技術における自己の臨床実践能力の確認と課題の明確化技術試験			26 34
教科書	系統別看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 ② 医療安全 （医学書院）			
参考文献	1 医療安全ワークブック（医学書院） 3 必要に応じて資料を配付する 4 DVD vol.1 事例で学ぶ！医療安全 診療の補助編 vol.2 事例で学ぶ！医療安全 療養中のケア編 4 DVD 臨床判断気づくトレーニング第 3 巻新人看護師への準備編			
評価	終講試験 1～8 50点 9～10 50点 合計 100点 技術試験 11 100 点			
備考欄	この授業は、個人の主体的取り組みと相互に意見交換をし、思考を深める中で知識・技術・態度を統合していくため、自主的な事前学習は不可欠である。看護技術試験は、安心安全な看護の技術の統合につながるように繰り返し自己学習して臨むこと。看護技術試験を振り返ることで看護師に必要な倫理感性を身につけ自己の傾向と習性に気づき課題を明確化する			